

臺灣總督府官制中改正ノ件

三十八年十一月八日原案決議

(臺灣總督府官制中改正ノ件)

勅令第 號

臺灣總督府官制中左ノ通改正ス

第十九條中「參事官長一人勅任」ヲ削リ

局長」下「四人」ヲ「五人」ニ改ム

第二十一條 削除



參照

○臺灣總督府官制明治三十年十月二日
第十七條 民政部ニ警察本署及左ノ五局ヲ置

總務局

財務局

通信局

殖産局

土木局

通信局ニ測候所及燈臺ヲ附屬セシム

第十九條 總督府ニ左ノ職員ヲ置ク

(略)

參事官長 一人 勅任

(略)

局長 四人 勅任又ハ奏任

(以下略)

第二十一條 參事官長ハ總督及民政長官ヲ佐

ケ、總務局長ト為リ及審議立案ニ関スル事務

ヲ管理ス



臺灣總督府官制中改正ノ件 審査報告

謹テ今回御諮詢ノ臺灣總督府官制中改正ノ件

ヲ審査スルニ參事官長ハ當初臺灣ニ於テ多數

法規ノ制定ヲ要シ參事官ノ事務繁劇ヲ極メタ

ル時期ニ於テ主トシテ參事官ノ事務ヲ統督ス

ルノ任ニ當リ其ノ後ニ至リテハ兼テ總務局長

ノ任ニ當リ來リタルモ今日ニ於テハ諸般ノ制

度略整備ニ就キ參事官ノ事務ヲ統督スルカ為

ニ斯ノ如キ高官ヲ存置スルノ必要ヲ認メス而

シテ總務局ニ於テハ地方政務學務其ノ他許多

ノ事務ヲ取扱ヒ頗ル繁劇ナルヲ以テ寧ロ他ノ
四局ト同シク專任局長ヲ置キテ局務ヲ掌理ス
ルヲ適當ナリトシ參事官長ヲ廢シテ總務局長
ヲ置カムトスルモノニシテ機宜ニ適當シタル
ノ借置ト認ム依テ原案ノ通可決セラレ然ルハ
シト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

明治三十八年十一月二日

樞密院書記官長都筑馨六

樞密院議長侯爵伊藤博文殿